

令和2年度 指定管理者セルフモニタリング評価書

指定管理者：株式会社有隣堂

1 基本情報

施設名	綾瀬市立図書館
施設の設置目的	市民の教養の向上及び文化の発展に寄与する。
指定管理者の名称	株式会社 有隣堂
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)
指定管理上の目標	5年間で利用者数:125,000人 貸出点数:479,000冊 登録者数:22,100人を目指す。

2 利用状況

利用状況等 の推移	対象年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	利用者人数	118,526	117,269	107,643	82,509		
	貸出点数	447,868	441,096	399,969	307,569		
	登録者数	20,984	20,937	20,186	16,268		
	予約数	45,961	48,200	49,613	53,629		
	蔵書等回転率	1.71	1.68	1.53	1.20		

3 管理経費等

(単位:円)

令和2年度指定管理者の 収支状況	計画(年間)		実績(年間)	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指 定 管 理 料	105,950,000	指 定 管 理 料	105,950,000
	コ ピ 一 利 用 料	18,000	コ ピ 一 利 用 料	10,940
	そ の 他	0	そ の 他	0
	収 入 合 計	105,968,000	収 入 合 計	105,960,940
	<支出の部>		<支出の部>	
	事 務 費	5,045,000	事 務 費	4,667,134
	事 業 費	1,981,000	事 業 費	1,631,681
	人 件 費	59,400,000	人 件 費	57,971,830
	物 件 費	23,001,000	物 件 費	23,748,562
	そ の 他	16,541,000	そ の 他	17,933,055
	支 出 合 計	105,968,000	支 出 合 計	105,952,262
	<収支差>		<収支差>	
	収 入 合 計 - 支 出 合 計	0	収 入 合 計 - 支 出 合 計	8,678

4 業務評価

事業項目	事業内容	評価結果	
		評価	特記事項
利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数の拡大 ・広域利用：県央8市1町1村及び藤沢市 ・アウトリーチプロジェクト 電子図書館 市役所・各地区センターの屋外返却ポスト管理 ※各地区センター返却ポスト入替(24時間対応) ・無線LAN 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館利用増に伴い、ガイダンスパンフレット「使ってみよう電子図書館」の配付開始。 ・地区センター他に24時間対応の返却ボックス設置。
蔵書点検	・特別整理期間 6日間(9月11日～16日)	B	
広域利用	・県央8市1町1村及び藤沢市との広域利用を実施	A	貸借倍率2.5倍。
児童サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館おはなし会の開催(一部開催) 中央公民館・各分室(通年) ・子どもの読書週間おはなし会／布えほん展(4～5月)…感染症対策で中止 ・出前おはなし会(随時) ・おはなし会ボランティアとの協働、活動支援 …感染症対策で中止 ・おはなし会まつり(7月)…感染症対策で中止 ・ボランティア交流会(7月)…感染症対策で中止 ・おはなし会講座…感染症対策で中止 ・定例以外のおはなし会(年4回) …内3回は感染症対策で中止 12月実施 ・あかちゃんのとしょかん(通年)・絵本コーナーでの読み聞かせ等は感染症対策のため中止 ・あやせゼロの日運動 「絵本ふれあい事業」読み聞かせ講座動画配信… 10月～HPより配信中 ・としょかんスタンプラリー(8～3月) ・図書館の達人講座(通年)…感染症対策で中止 ※動画配信により代替 ・読書感想画展代替え案…感染症対策で中止 ・ブックスタート(毎月2回) …感染症対策で一部中止(代替日振替実施) ・小学生向け郷土資料ページの設置 ・「ミニあやせ」模擬図書館体験(7月)感染症対策で中止 ・パスファインダー「ピッキーのあしあと」「ピッキーの本棚」配布(3月) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウィルス感染防止対策として中止。 ・図書館おはなし会は、感染症リスク対策を講じ、実施会場でのリハーサルを行なう等、コロナ禍での体制を構築。 ・コロナ禍での代替え企画として、動画配信開始。
学校連携	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生向け「としょかんはじめてツアー」 …感染対策のため中止 3月) ・学校司書連絡会議への職員派遣 ・学習支援(選書と団体貸出) ・学校図書館整備の支援 ・教員の社会体験研修の受入(12月) ・学校向けリサイクルブック提供(5月) ・市内中学校国語科授業成果物展示(第4四半期) 	B	・コロナ禍での新規事業として、「図書館たんけん」動画を配信開始(代替企画)。

事業項目	事業内容	評価結果	
		評価	特記事項
YA(ヤングアダルト)サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・YA掲示板設置 ・YA通信発行(年4回) ・CDランキングアンケート(年1回) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・県立秦野高校図書室からの取材要請に協力。同図書室広報紙に電子図書館記事掲載(10月)。
シニアサービス・障がい者サービス	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館だより等でサービスをPR ・シニアサービス 「ほんわか」の発行 シニアセカンドライフ展開催(随時) 大活字本の収集 時代小説リストの発行 高齢者施設訪問貸出・配本(通年) リーディングトラッカ一館内・館外貸出実施 	B	
	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者サービス 宅配サービス 視覚障がい者への郵送サービス 視覚障がい者対面朗読サービス 	B	
読書普及	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館サービス運用 ・企画展示(テーマ・時機ごとに随時実施) (本館、分室、地区センター等) ・書庫開放日(通年) ・青空リサイクルブックフェア ・リサイクルブックお持ち帰りセット ・本館リサイクルブックコーナー設置(通年) ・本の福袋(1月) ・「手づくり講座」開催・感染症対策で中止 ・「としょかんフェスタ」開催・感染症対策で中止 ・読み聞かせ動画配信 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館利用者数・貸出数・登録者数大幅に増加 ・本の福袋は1/4当日にすべて貸出し。 ・動画配信は新規事業
生涯学習の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土を知る講座(1月)・感染症対策のため中止 ・パスファインダー「ピッキーのあしあと(一般向け)」配布 ・郷土資料の電子化・電子図書館での公開 ・国立国会図書館他データベース運用管理 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料3点電子書籍化・貸出し、郷土紙芝居1点を動画配信
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館報定期発行(情報発信・PR) 図書館だより(毎月) ピッキーだより(年4回) + 総集編 YA通信(年4回) ほんわか(年4回) 分室だより(年2回) ・図書館ホームページ、SNSによる情報発信 ・本館内デジタルサイネージの活用 ・広報あやせ(毎月) ・マスメディアへの情報提供(随時) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの利用率5.9ポイント増加(令和2年度利用者アンケートに基く)
コミュニケーションロボット(Kibiro)の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・本館・分室等のカウンター／イベント対応業務 ・利用者とのコミュニケーション向上の一環として 「Kibiro衣装デザインコンテスト」 入選作品衣装作成展示 	B	

事業項目	事業内容	評価結果	
		評価	特記事項
予約サービス	・予約サービスの実施	A	予約件数53,629件(過去最高数値、前年比8.1%増 前年49,613件)
分室の運営	・定期的な蔵書入替の実施 ・分室巡回コーナーの設置 ・遅送車の運行 ・分室独自の展示の充実	A	本年度より広報紙「分室便り」を年2回発行。
配本サービス	・小学校9校、地区センター3カ所 ・児童館4カ所、保育園11カ所、幼稚園8カ所	A	
図書館協議会	・第1回(7月書面開催) ・第2回(3月書面開催)	B	
図書館年報の作成	・「平成元年度図書館の概要」(4月)	B	
夜間警備	・夜間開館時に警備員を配置	B	利用者の安全の確保
環境の整備	・本館児童コーナー書架増設工事(9月) ・本館・分室に飛沫防止用シート、アクリル板設置(9月) ・本館学習室に飛沫防止用アクリル製仕切板設置(9月) ・新聞コーナー閲覧台リニューアル導入(9月) ・花壇の植栽維持管理 ・バラのアーチ維持管理 ・モビールの維持管理 ・図書館内への写真展示 ・館内に季節の紙・布の工作等を展示 ・第2工作部の募集 ・無線LAN利用促進 ・タブレット設置(本館2台、分室各1台) ・図書除菌機設置(2月)	A	感染症対策及び利便性向上を目的として、備品等設備増強を行った。
図書費の執行	・図書費の適正執行	B	
選書	・見計い選書を実施 ・毎週火曜日に選書会議を開催	B	
装備	・館内装備を実施	B	
国際資料の整備	・国際資料コーナーの設置 ・外国語絵本コーナーの設置	B	電子書籍での整備に注力
利用者の要望の把握	・ご意見箱の設置 ・「利用者の声」の収集と活用 ・利用者アンケート調査の実施	A	利用者アンケート調査結果：総合満足度80.0%となり、継続して高評価を得ている。
司書の配置	・常時窓口に司書を配置	B	

事業項目	事業内容	評価結果	
		評価	特記事項
繁忙期の対応	・シフト変更等によりスタッフを増員	B	
職員研修	・館内研修の実施 ・館外研修の実施	B	
情報の共有・周知	・会議・ミーティングの開催 職員会議 全体会議 リーダー会議	B	
綾瀬市への事業報告	・月間報告書 ・年間報告書 ・事業報告会 令和元年度通期活動報告会(6月29日) 上半期活動報告会(11月24日)	B	
セルフモニタリング会議	・四半期ごとに実施 前年度第4四半期(4月) 第1四半期(7月) 第2四半期(10月) 第3四半期(1月)	B	
市民や市内団体の活動支援	・デジタルサイネージ運用・整備 ・ボランティア団体との定期ミーティング	B	
その他	・利用者登録データの管理・除籍の実施 ・節電対応(クールビズの実施) ・第2次綾瀬市子供読書活動推進計画に関する委員派遣 ・綾瀬市役所への選書・配本サービス ・新型コロナウイルス感染症対策の立案・実施 ・文科省「子どもの読書活動の推進等に関する調査研究」調査検討委員会委員派遣	B	

評価	基準
A	計画以上に成果があった。
B	計画どおり実施できた。
C	改善を要する。